

人生会議していますか ー人生の最終段階にむけた意思決定支援

キーワード： アドバンスケアプランニング エンドオブライフケア 精神科医療

健康医療科学部 看護学科 精神看護学領域 准教授 田代 誠

E-MAIL : m.tashiro@ns.kanagawa-it.ac.jp

URL: <https://www.kait.jp/research/navi/tashiro.html>

● 研究の背景とこれまでの課題

人生の最終段階において、どのように過ごし、どのような医療やケアを受けたいか「もしものとき」について話し合いを持つことを推奨しています。

人生会議 = アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning: ACP) では「大切にしたいこと」や「して欲しくないこと」を伝えながら、かけがえのない人生を豊かにしていくことを目的としています。



精神科病院でも終末期支援が課題となっています。かつて収容型と呼ばれた精神科病院では、多くの長期入院患者さんが高齢化となり、この問題に直面化しています。精神症状や重要他者の不在、意思決定が困難など多くの問題によって、自分らしい最期が描けずに亡くなっています。

● 研究開発の着眼

がんや認知症の領域では、このACPIは浸透しており、医療・福祉・行政・家族など多くの方によってサポートを受けながらエンドオブライフを迎えています。

たとえ精神障害者であっても、その人が望む場でケアを受けながら、その人らしい最期を迎える権利はあります。そこで、長期に入院されている精神障害者が自分のエンドオブライフに対して、希望や夢を語らいながら、その人らしい最期が迎えられるよう「精神障害者に対するACPの導入」を精神科看護師らと一緒に目指しています。



● 研究成果

① 精神科病院で増加する長期入院・高齢者の死にどう触れていくか

- 終末期支援を語れる病棟づくり
- 意思決定に対する支援方法の検討

田代誠, 柴田真紀(2022): 精神科における長期入院患者の看取りに対する看護師の思いー看取り経験のある看護師へのインタビューを通してー, 日本精神保健看護学会第32回学術集会抄録集, p98

② ACPIは、長期入院患者の将来像や予後の組み立てに深く関与する

- 長期入院患者の背景を加えたACPの仕組みづくり
- 精神科病院でエンドオブライフケアの教育を充実させる

田代誠, 柴田真紀(2024): 精神科病院におけるACP導入に向けた課題ー看護部長を対象としたインタビュー調査ー, 日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会抄録集, p72

● 主要な論文・雑誌等

- ✓ 精神に病をもつ人の看取り その人らしさを支える手がかり、精神看護出版(2021)
- ✓ 精神科における看取り「こんなふうにいきたい」をどう支援するか、精神科看護(2022)



● 想定利用・展望

精神保健従事者に向けた精神障害者を対象としたACP導入プログラムの開発



地域精神保健に関連した行政・訪問看護ステーションとの連携



長期に渡って療養が必要な施設(高齢者関連施設、知的障害者など)への情報提供